

各点収束と一様収束

一様収束は、何のため？

連続関数の 各点収束 極限は、連続関数とは限らない
 連続関数の 一様収束 極限は、連続関数である

例 : $n = 1, 2, \dots$ に対して

$$f_n(x) = \begin{cases} 1 - n|x| & (|x| \leq 1/n), \\ 0 & (|x| \geq 1/n), \end{cases} \quad f(x) = \begin{cases} 1 & (x = 0), \\ 0 & (x \neq 0), \end{cases}$$

と定義する。このとき、次のことが成り立つ。

1. f_n は f に \mathbf{R} 上で各点収束する。
2. f_n は f に \mathbf{R} 上で一様収束しない。
3. f_n は \mathbf{R} 上の連続関数であるが、 f は連続関数でない。

数学的な枠組み：

(X, d) : 距離空間, K : 距離空間 X の部分集合, $f: K \rightarrow \mathbf{R}$ 連続関数
 $\|f\|_\infty = \sup_{x \in K} |f(x)|$ f の 一様ノルム

定理：連続関数の一様収束極限は、連続関数（定義域 K のコンパクト性は無関係）。

証明：まず、作戦タイム。

連続関数列 $(f_n)_n$ の一様収束極限を g として、点 a における g の連続性を考える。
 示したいのは g の連続性であって一様連続性ではないから、 a は固定しておけばよい。

連続性とは、 $x \simeq a$ のとき、 $g(x) \simeq g(a)$ となることである。 g は f_n の極限だから、 $f_n(x) \simeq f_n(a)$ を経由して評価すればよい。つまり、図式

$$\begin{array}{ccc} n = \infty : & g(x) & g(a) \\ & \uparrow & \uparrow \\ n : & f_n(x) & \longleftrightarrow f_n(a) \end{array}$$

を念頭において、

$$\begin{aligned} |g(x) - g(a)| &\leq |f_n(x) - f_n(a)| + |f_n(x) - g(x)| + |f_n(a) - g(a)| \\ &\leq |f_n(x) - f_n(a)| + 2\|f_n - g\|_\infty \end{aligned} \quad (1)$$

の右辺の各項を不等式評価すればよさそう。

.....以上の考察を踏まえて、証明をはじめます。

連続関数列 $(f_n)_n$ の一様収束極限を g とする . 1 点 $a \in K$ を固定する . 示したいことは , a における g の連続性 , すなわち ,

$$\forall \varepsilon > 0, \exists \delta > 0, \forall x \in K : d(x, a) < \delta \Rightarrow |g(x) - g(a)| < \varepsilon \quad (2)$$

である . $\varepsilon > 0$ を任意に固定する .

一様収束の定義により ,

$$\forall \varepsilon' > 0, \exists n_0, \forall n : n \geq n_0 \Rightarrow \|f_n - g\|_\infty < \varepsilon' \quad (3)$$

であるから , $\varepsilon' = \varepsilon/3$ とすると , ある n (例えば $n = n_0$) が存在して ,

$$\|f_n - g\|_\infty < \varepsilon/3. \quad (4)$$

上で固定した n について , f_n は a で連続だから ,

$$\forall \varepsilon' > 0, \exists \delta > 0, \forall x \in K : d(x, a) < \delta \Rightarrow |f_n(x) - f_n(a)| < \varepsilon' \quad (5)$$

である . $\varepsilon' = \varepsilon/3$ に対する $\delta > 0$ を考えると , (4) と (5) を用いて (1) の右辺を抑えると ,

$$\forall x \in K : d(x, a) < \delta \Rightarrow |g(x) - g(a)| < \varepsilon/3 + 2(\varepsilon/3) = \varepsilon$$

となる . これで (2) が示された .

(証終)

以上 (2010-12-06)